

高岡教区教務所 電話 0766-22-0887 FAX0766-21-5152  
メール info@takaoka-hongwanji.jp

## ◇高岡教区仏教婦人会連盟新年会開催

去る一月二十九日(月)に高岡教区仏教婦人会連盟の新年会がニューオータニ高岡にて開催され、会員・来賓九十五名が参加し、交流を深めた。

新年会に先立って讚仏偈のおつとめと教務所長の法話があり、「これまでの生き様や社会的立場を以って人の価値に軽重をつけることなく、ともに救われていく教えが浄土

真宗の魅力である」と話された。

また、岡西法英教区会議長が来賓挨拶の中で、「浄土真宗中興の祖となった蓮如上人を支えたのは妻たちの存在でありました。妻に先立たれるたびに新たな妻を迎えたのは、浄土真宗においては家庭における婦人の働きが非常に重要であることの証明であり、昨今の厳しい状況だからこそ仏教婦人会連盟の皆さまの奮起に期待します」と激励された。

新年会では余興としてフラダンスとビンゴ大会があ



り、特にハワイアンミュージックに乗っての本格的なフラダンスの披露によって会場は大いに盛り上がりを見せていた。

近年では仏教婦人会連盟においても、単位会の減少、後継者不足による会員の高齢化などの課題を抱えているが、特に深刻なのは仏教婦人会活動の意義が見失われつつあり、「何のために、誰のために」ということがぼやけてしまっているがゆえに、活動そのものが縮小していくだけでなく、家族であっても

加入や活動への参加を呼びかけることがためらわれる状況にあるということである。家庭を活動の中心に据えている仏教婦人会の根幹にかかわる問題であり、単位会のあり方の見直しと点検が求められる時期に来ており、連盟としてもより活動の充実と連携を図っていく必要に迫られている。



## ◆子ども若者ご縁づくり推進にかかると高岡教区説明会を開催

一月二十四日午後三時より子ども若者ご縁づくり推進にかかると高岡教区説明会が開催され、仏婦・仏壮等の各教化団体役職者や少年連盟・寺族青年会の会員が参加した。これは今年度より発足した高岡教区子ども若者ご縁づくり推進委員会が、これからの事業推進のための一助としようとする宗派のご縁づくり推進室より、推進事業や各教区の現状について報告をもらった。

宗派からは、松月博宣「ご縁づくり」活動推進会議委員長と鷲山仁志推進室賛事が出向された。最初に松月委員長からご縁づくりの概要を話され、家庭や手次の寺院でお念仏の伝承機能が失われた今、新たな取り組みをしていくことで、次世代育成をはかり、いざれお念仏を申す人になつてほしいと言われた。

次に宗派の推進体制について話され、キッズサンガをさらに発展させていくために、名称を変更し「子ども若者ご縁づくり推進室」の常態化を目指すことで、ご縁づくりの“現場”を増やし、多様化している若者の現状を学び寄り添っていきたいとした。そして各教区の現状や高岡教区での推進に触れ、いくつかの具体例を出しながら、教区主体の事業企画を行うことで、各寺院の支援活動になるなど教区内寺院がご縁づくりに取り組んでもらえる環境を整えることが大事と述べられた。

終了後、意見交換が行われこれまでの高岡教区の少年教化の取り組みや、子ども若者ご縁づくりとキッズサンガの違いについて等質問や意見が交わされた。この説明会を受けて、高岡教区子ども若者ご縁づくり推進委員会では教区の推進のために何をして行けばいいのかを検討し、ご縁づくりの推進を行っていききたいとして

いる。

## ◆青年布教使研修会開催

去る二月八日、青年布教使研修会が開催され、高岡教区布教団所属の四十五才未満の青年布教使七名が活発な意見交換を行った。これは、昨年より高岡龍谷高校の『成道会』と『御正忌』の機会を「青年布教使大会」として行っていることから、その反省と今後の課題を確認するなかから自己研鑽につなげようとの目的で開催されたもの。

今回は、実際に出講した三名の青年布教使がその感想と、高校生から寄せられたアンケートの内容を自己分析の形で発表、その意見をもとに話し合いを行った。出講者では「高校生はどんな話をしてもほとんど反応を見せないため非常に話しづらく、普段の法座がいかに保護された状況であったかということを感じた」といった感想が出された一方、高校生のアンケートでは「大変いいお話だった。また聞いて見たい」などの好意的な反応も多くみられ、高校生は法話に対して全く無関心ではなく、きちんと話を聞いて理解しようとする姿勢があり、むしろ高校生に対する法話は、その内容と質が厳しく問われる場であることが浮かび上がった。

アンケートの中でも特に反応が多かったのは、仏教の平等思想について触れた法話であり、それだけ今の高校生が、世の中の不条理や人間関係に悩んでいることの表れではないかとの指摘もあった。現在の青少年層が何に悩んでいるのか、その一端が浮き彫りになってきた形であり、今後は事前のアンケートを取るなどして法座に向かう、といったアイデアが話し合われた。高岡教区布教団では、明年二月に予定される第二連区青年布教使研修会の担当であることから、この取り組みを引き続き行い、その成果を一年後に発揮したいとしている。

## ◇御同朋の社会をめざす運動のコーナー

### 富山解放連による富山県行政への要請行動

富山県内本願寺派・大谷派四教区が参画している『部落解放にとりくむ富山県連絡会議』では、不定期ながら逐次に富山県行政に対して要請行動を行ってきました。

昨年一月の第三回以来一年ぶりに、去る二月七日（水）午後二時三十分から四時過ぎまで、県民会館の一室を借り受け、部落問題の担当部署に当てられている県民生活課の課長他二名・県教育委員会から四名、合わせて七名の県職員と、私たち解放連の会員七名（雪に阻まれ昨年の半数の参加）とが対面して六項目にわたる質問と申し入れを行いました。事前に知事宛の「申し入れ書」を提出した上でのことです。

主なテーマとしては、

①一昨年の春以来「鳥取グループ・示現社」によって、インターネット上に、富山県を含む全国の被差別部落の所在地一覧が掲載され、今日まで消去できないままであることをどう受けとめ、今後どう対応するのかということ。

②この事態を重く見た故に、昨年末「部落差別解消推進法」が施行され、行政の責務が強く指示されているが、その周知活動・教育啓発・相談充実・従来の基本計画の見直し等はどうか取り組む方針なのかということ。

③二〇一六年五月、富山市郊外の民家の壁に張り出された賤称

語看板の事件についての、その後の調査・取り組み、今後の課題について、  
等でした。

当教区の浜野氏の司会進行でやり取りが進んだのですが、県側の返答は、国や法務局からの指示待ちに終始し、他県での取り組み状況についての調査研究すら余りにも不十分であり、周知資料の作り方や配付の仕方場当たりの、研修テーマに於いても人権一般の陰に隠れて部落問題が見えないなど、私たちの期待を裏切るものばかりでした。

「もう少し全国レベルでの県・市の取り組み事例を勉強して欲しい。せめては『人権』の名を冠した部署を設置すべきだ。取り組み報告書を提出してもらいたい」は、解放連事務局の吉田氏の弁。

「加賀藩政下で、全権網羅的に少数点的に配置された被差別部落の姿は、民衆監視と一揆防止策の産んだものであり、それが団結による解放運動を阻み続けたと思われる。その上に、富山県に被差別部落はもう無いという、半世紀にもわたる県の、部落差別無視は究極の差別体制であったと言わねばならない。動きにくいのは当然の状況だと承知している。どうか、行政の職にある者から、課題の掘り起こし役、取り組みの呼びかけ人役を担うようであって欲しい」は私からの訴えでした。

【富山解放連会長 岡西法英】

◇これからの日程（2/19～3/19）◇

2月	教区・財団行事	教化団体・組行事
19	連区職員研修会（東海） 聖典セミナー	管区矯正連絡会（東海）
20		寺院女性会役員会
21		北同推打合せ 糸岡組研修会 中仏生のつどい 仏壮ボーリング大会
22		
23		
24		連研のための研修会
25		
26		
27		
3月	組主幹協議会	
1	教区常任委員会	第3B総代研修会（会館）
5		第1B総代研修会（会館）
6		第4B総代研修会（ひみの はな）
7		講社役員会
8		第2B総代研修会（農業改 善センター）
9	常例法座	仏婦常任委員会
12		
13		
14	常備会	
15		

☆お知らせ☆

「法輪せんべい」販売について

お茶菓子やご法事・ご法座の折のお扱いにいかが  
でしょうか。お申し込み先は下記のとおり。

FAX. でのお申し込みも承ります。どうぞご利用下  
さい。

一袋二枚入りで価格は次の通り

・特大箱（175袋） 8,300円

・1組（10袋） 500円

お申込み先は…高岡市東上関446 高岡教務所内  
（寺族青年会担当）  
Tel.(050) 5587-7708(代表)  
Fax.(0766) 21-5152

ラジオ放送～西本願寺の時間～

『みほとけとともに』

北日本放送（KNB）・73.8kHz.

◎毎週土曜日（本山制作）午前6:15～6:25

□第2・4日曜日（富山・高岡制作）午前6:00～6:10

◎2/24（土）：和氣 秀剛氏

（本願寺派布教使・奈良県圓光寺住職）

「父の想いと共にフラジルへ」

□2/25（日）：未 定

（富山教区）

◎3/3（土）：和氣 秀剛氏

（本願寺派布教使・奈良県圓光寺住職）

「浄土真宗本願寺派の僧侶となる」

◎3/10（土）：南荘 摂氏

（本願寺派布教使・静岡県教覚寺副住職）

「私を照らしてくださる光」

◎3/11（日）：未 定

（高岡教区）

◎3/17（土）：南荘 摂氏

（本願寺派布教使・静岡県教覚寺副住職）

「フラジル人学校との出会い」

◎3/24（土）：南荘 摂氏

（本願寺派布教使・静岡県教覚寺副住職）

「おみのりで繋がったファミリー」

【西本願寺高岡会館3月の常例法座】

ご講師：麻 生 尚 子 氏

（高岡教区伏木組浄光寺）

ご講題：『みほとけにいだかれて』

午後1時20分頃からビデオ上映、2時  
からお正信偈六首引のお勤めです。どうぞ  
お誘いあわせてお参りください。